



幹部職員と初期臨床研修医 [令和3年4月]

## CONTENTS

“医療従事者向け 新型コロナワクチン  
接種の取り組みについて” ..... P.1

- 当院の新型コロナウイルス感染症への取り組み ..... P.3
- 「病院機能評価」の認定更新しました ..... P.4
- 就任、退任のご挨拶 ..... P.5
- 新任医師紹介、令和3年度チューリップサロンのご案内 ..... P.6
- 地域医療連携だより ..... P.7
- INFORMATION、人気食おすすめレシピ ..... 裏表紙

令和3年 春号

Vol.67

## 医療従事者向け

### 新型コロナウイルスワクチン接種の取り組みについて

～皆さまへ安心をお届けするために～

COVID-19対策本部 ワクチン班

#### はじめに

3月まで行われた2度目の緊急事態宣言の効果で、新型コロナウイルス感染症の新規陽性者の発生数は減少し、流行状況は落ち着きを見せていました。しかし宣言解除後は、人の動きに合わせて再び新規陽性者数が増加し始め、流行の「第4波」として感染の再拡大が心配されています。

現在のところ、この病気に対する「特效薬」が存在しないことから、予防を徹底することが、自分自身と大切な人を守るために

最も大切なこととなっています。

その予防策として大きく期待されているのが「ワクチンの接種」です。現在、国や自治体、医療機関では医療従事者への先行接種が進められています。

新型コロナウイルス感染症の治療だけでなく、日々、様々な病気の診断や治療にあたる地域の医療従事者が、感染により業務を継続できなくなると、地域の皆さまが

安心して医療を受けることが難しくなります。そのため当院では、埼玉県、郡市医師会からの要請に基づき、地域の医療従事者向けワクチン接種を行う医療機関としてその任にあたっています。

当地域（深谷市及び寄居町）には約4800名の医療従事者がいます。自院で接種する関係者を除き、当院と埼玉よりい病院様の2つの病院で接種をお引き受けしています。当院では、地域の医院や歯科医院、薬局にお勤めの医療従事者約1700名の接種を予定しており、5月中の接種完了を目指しています。

#### ワクチンが足りない

報道等でご承知のとおり、現在、国においてワクチン確保に向けた努力がなされておりますが、生産国からのスムーズな輸送に問題があり、3月時点では、当地域の必要数の5分1ほどに当たる975名分しか配分がありませんでした。

そこで当院では、地域全体の医療従事者のうち、既に新型コロナウイルス感染症へ対応をいただいている医療者に優先的に接種していただくため、埼玉県指定「診療検査医療機関」の方、救急隊員、救急患者へ対応を行う病院職員に充当し、3月16日



ワクチンを分注する看護師



本格的な実施に先立ち、接種の手順と急変対応の確認のため、シミュレーションを行いました（3月8日）



から接種を開始しています。多くの方は心配されている副反応も見られず、無事に接種を完了しています。しかしインフルエンザ予防接種と比較すると、発熱や接種部位の痛みなど、有害事象は若干多めに出現しているため、接種される方はご留意いただきたいところです。当院で接種される場合は、予診での聞き取りに加え、接種後の観察を十分にとつていただき、お変わりないことを確認されてからご帰宅いただいております。

### ようやく開始に

供給が遅れていたワクチンが納入されることとなり、当初の予定から大幅に時期が遅れましたが、4月中旬からは、地域のすべての医療従事者の皆さまへの接種を開始いたします。対象の皆さまには、「WEB予約システム」からの申込みをお願いするなど、大変お手間をおかけしたことをお詫びいたします。

今後も、新型コロナウイルス感染症との闘いが続いていきます。当面は「第4波」の到来と増加する陽性患者への対応、一般県民へのワクチン接種など、多くの問題が山積しておりますが、当院は、地域の皆さまの健康を守るため、まずその任にあたる地域の医療従事者へのワクチン接種を進めてまいります。



### 当院でワクチン接種された方の感想

《深谷市内の開業医院長》

特に痛みを感じることなく接種を終えました。また、接種までスムーズにご案内していただき、非常にありがたく思っています。不安感なども特にありません。

今後は、なるべく早く早く大勢のワクチン接種が進み、コロナが終息に向かうことを望んでいます。



《深谷市内の開業医院長》

深谷日赤には見知っている顔が多く、安心して打てました。色々報道にはありますが、ワクチンは打つべきものだと思うっており、医療従事者の先行接種に対する不安感は全くありませんでした。

ワクチンの効果にはかなり期待をしています。しかし、患者さんの中には接種への不安を抱く方もいると思います。予てより自分が打ってきた感想を話すと伝えていきます。感想をしっかり伝え、更に、「なんともなかったよ」と言えれば、患者の皆さまも安心してくれるのではないのでしょうか。

《救急隊員》

(医療従事者が先行接種することに対して、)日々現場に出て、不特定多数の様々な人と接する仕事柄、「仕方がないな」という気持ちです。

しかし接種をしたことで、明日以降の業務にあたるときの気持ちは全く違ってくると思います。これでコロナにかからないということはありませんが、もし自分がかかった時に軽症で済むかと思うとやはり安心できます。

# 当院の新型コロナウイルス感染症への取り組み

数字とデータでみる当院の対応（令和2年度）

## 予防・ワクチン対応

玄関前で入館者へ検温  
面会禁止・実習受入制限  
ワクチン接種医療機関  
医療従事者 約2,800名に接種  
(現時点での予定)  
※当院職員約1,100名を含む

## 発熱患者の診療・検査

県指定帰国者接触者外来  
発熱患者対応医療機関  
発熱患者診察 1,823名  
PCR検査 3,795件  
迅速抗原 844件  
※令和2年2月～3年3月

## コロナ陽性患者の治療

県指定の重点医療機関  
コロナ受入病床 23床  
入院患者(実人数) 158名  
人工呼吸器対応 14件  
平均在院日数 17.3日  
※令和2年2月～3年3月



## 救命救急センターに新型コロナウイルス感染症患者専用のCTを整備しました。

### 【従来の運用】

すべてのCT検査は、放射線科内の2台のCTで実施しており、救命救急センターの患者は、外来・入院患者の間に入れ、救急対応をしていました。

また、新型コロナウイルス陽性・疑い患者の検査には、準備や念入りな機器の消毒、部屋の換気など検査前後に合計約1時間ほどの時間を要していました。その間、廊下や検査室には人が立ち入らないようにする必要があり、やはり外来・入院患者の診療も止まってしまっていました。

### 【今後の運用】

救急CTとして、救急患者及び、コロナ陽性・疑い患者専用とし、患者導線を分けることとしました。



### メリット

- ①病院スタッフ、患者の院内感染リスクの軽減。
- ②外来・入院患者の診療を止めることなく、救命救急センター内でCT検査を行うことが可能に。

〈主な対象者〉新型コロナウイルス感染症患者、あるいは感染疑い患者、救急患者  
〈部屋の特徴〉陰圧室  
〈機器〉GE社製64列マルチスライスCT『Revolution EVO』

今後、より安心・安全に新型コロナウイルス感染症に関する診療が行えるよう「救急CT室」を役立てていきます。

# 「病院機能評価」の認定を更新しました

病院機能維持・向上委員会

当院は、令和2年12月に公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する「病院機能評価」の訪問審査を受審し、令和3年3月5日付で認定（※）を受けました。

（※）一般病院2（3rd G：Ver.2.0）

## 《概要》

公益財団法人として平成26年に設立された「日本医療機能評価機構」が、病院が備えているべき機能について、中立・公平な専門調査チームにより審査を行います。

審査の結果、一定の水準を満たした病院を「認定病院」としています。

## 《受審の意義》

病院は、自院の理念達成や地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる質の高い医療サービスを効率的に提供するために、改善活動を推進しています。質の高い医療を効率的に提供するためには、病院の自助努力が最も重要ですが、更に効果的な取り組みとするためには、第三者による評価が有用となります。

病院機能評価は、第三者の立場で、組織全体の運営管理および提供される医療について評価を行い、病院の位置付けや問題点を明らかにします。このことにより、病院の更なる改善活動を推進し、病院体制の一層の充実や医療の質の向上に寄与しています。

（公財）日本医療機能評価機構 病院機能評価事業HPより引用。

平成17年7月に初めて認定されて以来、5年毎に更新受審し、今回で4回目の認定となりました。評価する項目は「患者さんの視点に立って良質な医療を提供しているか」、「実際に医療を提供するプロセスは適切か」、「病院全体の運営・管理体制が整っているか」など、4つの領域、約90項目があります。

受審の度、多くの課題を見出すことができ、病院運営のための指針となっています。

この認定を契機として今後も、更に地域に密着した温かく誠実な医療、患者さん中心の安全で質の高い医療を提供できるよう引き続き努力してまいります。



（上図）認定証  
（右上写真）集中治療室の訪問審査の様子



## 副院長就任のご挨拶



(新) 副院長  
長谷川 修一

日本内科学会認定内科医  
日本循環器学会循環器専門医  
日本内科学会総合内科専門医  
身体障害者福祉法第15条指定医（心臓機能障害）  
臨床研修指導医  
難病指定医

令和3年4月より副院長を拝命いたしました。今までは循環器科の医師として地域医療に貢献しようと努力してまいりましたが、今後は視点を変えて、新たな気持ちで診療に臨む気持ちでいます。

昨年からのコロナ禍は、現在のところ終息する気配はありません。当院でもコロナ病棟を新設したり、発熱外来を設定したりと色々対応しておりますが、今後もコロナ禍での業務が継続すると考えられます。患者さんをはじめ病院スタッフも気が休まらない状態が続いています。

今回のコロナ禍でも深谷市を始め多くの行政機関の援助や市民の皆さまの温かい支援をいただき、病院スタッフの励みとなっております。これは皆さまの支援にて病院が成り立っていることを再認識させてくれ、皆さまの期待も大きいことを痛感させていただきました。この期待に報いるような医療を目指す必要があると考えます。

一方で日常生活での手洗いやマスク着用の奨励で疾病を予防することの大切さや、体温測定などセルフチェックで体調の維持を図ることの重要性を教えてくださいます。コロナ禍にて再認識したことは皮肉的ですが、生活習慣病の予防や慢性疾患の重篤化の予防にも有用であり、この習慣が今後も根付いていけばと思います。

私自身、埼玉県北部で生まれ育ち、深谷赤十字病院にて研修を受け、この地域と深谷赤十字病院にとってもお世話になってきました。今後微力ではありますが、埼玉県北部の医療と深谷赤十字病院の発展に貢献していきたいと思っております。

## 副院長退任のご挨拶



(前) 副院長  
山崎 雅夫

戻ってきました。

その頃の病院はまだ建て替え前で、プール、体育館、テニスコートがあり、驚きました。これらは防災施設を兼ねていたようですが、職員の憩いの場でしたので、平成16年の新築の時に無くなり少し残念です。

当時は診療科も今ほど細分化しておらず、内科系医師はほぼ「内科」に所属していました。独立していた消化器科は外科医と混合でしたし、神経内科も結局は内科疾患全般を診ていました。

循環器科については、時代の流れなのか私が赴任した平成3年に標榜科になりましたが、当時は伊藤公雄先生の一人部長だったと思います。

ただ、平成4年に心臓カテーテル専用装置を導入していただきました。当院では心カテは昭和60年に鯨井昇先生によって始められ、既に延べ700例余りをこなしていました。他科との兼用機使用だったので制約がありました。平成5年からは毎年700例余りの検査・治療ができるようになりました。

また内田理先生が部長になられ、循環器科として発展できました。一時近隣の専門病院の台頭や内田先生の開業など集患に苦労する時期もありましたが、地域医療連携に力を注ぎました。

その後、長谷川修一先生、翌年に宮嶋玲人先生、さらに関口誠先生が次々と赴任され、PCUの実力が上がり、地域を超えて一目置かれる病院になれたと思います。それとともに私の出る幕も無くなってきました。

最後の3年は思わず副院長を務めることになりました。このことは病院全体を考える良い機会になりました。「病院機能評価」受審の責任者として、また、最後の1年は感染対策室長として、コロナ禍のなか、僅かでもお役に立つたでしょうか。

ともかく足掛け29年間お世話になりました。ありがとうございます。今後も別の形で、微力ながら地域医療に貢献する所存ですので、よろしく願います。

# 新 任 医 師 紹 介




(名 前) 新富 静矢 (診療科) 心臓血管外科  
 (出身大学) 東北大学 (趣 味) 旅行、音楽鑑賞、硬式テニス  
 (抱 負) 前任の先生から引き継ぎ、2月より深谷日赤でお世話になることになりました。患者さん first で立ち回り、病院・地域に貢献出来るよう努めてまいります。よろしくお願いします。

## チューリップサロンのご案内 (令和3年度)

チューリップサロンとは、がん患者さんと、そのご家族のための相談・情報交換を行う場です。  
**どなたでも(当院に通院されていない方でも)、ご参加いただけます。**

開催日時：毎月第3木曜日 14時30分～(途中参加・退出も可能です)  
 場 所：外来棟1階 相談支援センター  
 申込方法：申込は不要です。当日直接お越しください。  
 問合せ先：048-571-1511 [内線] 6272 小暮



開催日	内 容	担当者
4月15日	ハーバリウム作り お花の素敵なインテリア作りを体験できます。 	田島(患者支援センター看護師)
5月20日	放射線治療について 放射線治療に関するさまざまな情報をお伝えします。	杉山(放射線治療科看護師)
6月17日	がんに伴う不安との付き合い方 がんに伴う不安とうまく付き合う方法を心理師がお伝えします。	金子(公認心理師)
7月15日	がん治療に伴う外見の変化への対応 脱毛や色素沈着、爪の変化などへの対処方法をお伝えします。	多田(がん看護専門看護師)
8月19日	夏 休 み	
9月16日	抗がん剤治療について 抗がん剤治療についてのさまざまな質問にお答えします。	尾川(がん化学療法看護認定看護師)
10月21日	がん治療・療養に必要な情報の集め方 情報があふれる時代に適切な情報を集める方法をお伝えします。	小暮(緩和ケア認定看護師)
11月18日	編み物で小物作り 毎年さまざまな作品を作っています。	都木(看護係長)
12月16日	クリスマス会 お茶とお菓子を囲みながら、楽しい時間を過ごしましょう。	小暮、多田、荻野
1月20日	冬 休 み	
2月17日	抗がん剤治療の支持療法について 抗がん剤の副作用に対する治療について薬剤師が教えてくれます。	富施(外来がん治療認定薬剤師)
3月17日	がん治療・療養中の食事の工夫 治療中や食欲がない時などの食事のポイントをお話します。	荻野(管理栄養士)

※サロンの内容は変更になることもあります。

## <地域の皆様へのご案内>

### 当院を受診の際は、紹介状をご持参ください。

当院受診の際（初診時）は、他の医療機関からの紹介状（診療情報提供書）をご持参いただくことをお勧めします。

紹介状（診療情報提供書）をご持参いただいた場合は、国が定める初診時選定療養費（医科5,500円・歯科3,300円）のご負担がなくなります。

### 連携医療機関のご紹介

#### 美里クリニック

住 所 〒367-0103 児玉郡美里町阿那志225-1  
電 話 0495-76-0032  
院 長 富田 潤  
診 療 科 内科、消化器科  
休 診 日 第2・第4土曜日、日曜、祝日  
診 療 時 間 (午前) 9時～12時  
(午後) 2時～6時(2時～4時は往診)  
※第1・3・5土曜日は午前9時～12時



#### 院長先生からのメッセージ

平成5年より父の後を継承して診療しております。令和3年4月より在宅療養支援診療所に認定され、美里町を中心に往診、訪問診療を行っています。高齢化社会での在宅診療の重要性を考え、これからも地域に密着した医療を行っていききたいと思います。

#### 河田歯科医院

住 所 〒366-0026 深谷市稲荷町3-3-22  
電 話 048-571-1812  
院 長 河田 育大  
診 療 科 歯科・矯正歯科  
休 診 日 木曜、日曜、祝日  
診 療 時 間 (午前) 9時～12時30分  
(午後) 3時～6時30分



#### 院長先生からのメッセージ

当院は一般歯科、矯正、インプラント、咬み合わせ治療を自ら行っております。当院設置の歯科用CT装置は、正確な診断に役立てております。また治療室で使用する水は、細菌、ウイルスを除菌できるエピオスエコシステムを導入し、患者様に安心して治療を受けていただいております。



# 地域医療連携だより



## 深谷赤十字病院は地域との 医療連携に努めています。

初期診療や慢性の継続診療などは、「かかりつけ医」の先生に診ていただき、専門的な検査や診察、また入院が必要な治療は病院が受け入れるという役割分担を行うことで、地域の皆様が継続して適切な医療が受けられるような体制を維持しています。

### 連携医療機関のご紹介

#### 正田眼科

住 所 〒366-0026 深谷市稲荷町1-2-15  
電 話 048-571-1198  
院 長 正田 政一郎  
診 療 科 眼科  
休 診 日 木曜午後、土曜午後、日曜、祝日  
診 療 時 間 (午前) 9時～12時30分  
(午後) 2時30分～6時  
※木曜は午前9時～12時  
土曜は午前9時～12時30分



#### 院長先生からのメッセージ

当院では、日帰りにて白内障（多焦点眼内レンズを含む）、緑内障、網膜硝子体、涙道、外眼部の手術をしています。他、加齢黄斑変性に対する抗VEGF薬の硝子体内注射、各網膜疾患に対するレーザー治療、コンタクトレンズ診療、小児眼科、ロービジョン診療等をしています。

#### ベルこどもクリニック

住 所 〒360-0846 熊谷市拾六間755-31  
電 話 048-531-4152  
院 長 鈴木 由紀恵  
診 療 科 小児科  
休 診 日 木曜、火曜午後、土曜午後、日曜、祝日  
診 療 時 間 (午前) 9時～12時  
(午後) 3時～5時



#### 院長先生からのメッセージ

『子供たちがみんな安全に健やかに育ちますように ママ達が笑顔で子育てできますように』を理念に身近な小児科専門医として責任ある医療に努めています。また健診や予防接種は動線を分けています。私達は子供の成長の喜びをご家族と分かち合える小児科でありたいと思っています。

# INFORMATION

## ～当院の放射線機器をぜひご利用ください～

当院の所有する放射線機器は、登録医療機関の先生方にご活用いただけるよう「共同利用」の仕組みをとっています。共同利用とは、CTやMRI、RI検査など検査を目的とした患者紹介です。当院で検査を行い、放射線読影専門医が速やかに読影レポートを作成し、診療情報のご提供をさせていただきます。

対象の検査:CT[単純・造影] / MRI[単純・造影・VSRAD] / RI[骨シンチ、SPECTなど15種] / マンモグラフィー  
対象の部位:頭部 / 頸部 / 胸部 / 腹部～骨盤部 / 四肢(骨)



### 【検査の流れ】

- ①登録医療機関の先生から、放射線診断科ダイレクト検査予約担当へ直接お電話にてお申し込まれます。(日時は、患者さんのご都合に合わせてご案内します。) ※お電話と併せて、所定様式をFAXで送信ください。
- ②ご予約された先生から、患者さんへ検査日時、注意事項などのご説明をお願いします。
- ③患者さんは「診療情報提供書」など必要な書類を持参し、当院へ来院。所定の検査を実施します。(検査費用をお支払いいただきます。)
- ④翌日、登録医療機関の先生あて、読影結果、診療情報提供書、データを送付いたします。 ※検査翌日が病院の休診日の場合は、翌診療日となります。
- ⑤登録医療機関の先生から患者さんへ検査結果のご説明をお願いします。

＜お問合せ先＞  
地域医療連携課  
TEL : 048-571-1511 (代)

＜お申し込み先＞  
放射線診断科ダイレクト検査予約担当 (内線 : 6223)  
TEL : 048-571-1511 (代)

## 栄養課からの人気食おすすめレシピ

### — さばの香味みそ焼き —

木々もすっかり芽吹き、新緑の季節となりました。今回は、お値段がお手頃な“さば”を使った1品を紹介します。

“さば”にはDHAやEPAが豊富に含まれており、生活習慣病予防対策にはピッタリです！写真のように野菜サラダを添えると食事のバランスも整います。

とても簡単に作れますので、おうち時間にぜひお試しください！

### 作り方

- ①Aをなめらかになるまでよく混ぜ合わせ、万能ねぎを加える。
  - ②①に、水気をふき取ったさばを漬け込む(約30分)。
  - ③熱したフライパンに油をひき、漬け込んだ魚を弱火でこげないように両面焼き、出来上がり。
- ☆万能ねぎは漬け込まずに、最後にちらしても美味しくいただけます。

### 材料(4人分)

さば	4切れ
赤味噌	大さじ2杯
酒	小さじ2杯
A みりん	大さじ1杯
おろししょうが	小さじ1/2
おろしにんにく	小さじ1/2
万能ねぎ	適量
油	小さじ1



深谷赤十字病院

日本赤十字社

〒366-0052 深谷市上柴町西5丁目8番地1  
TEL 048-571-1511 (代)  
<http://www.fukaya.jrc.or.jp/>

Vol.67 令和3年4月26日発行  
編集発行: 深谷赤十字病院  
広報・公聴委員会